

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

**研究課題名：** 鏡視下手術における直腸癌の最適な術前治療の検討

### 研究の目的

進行直腸癌では、腹腔鏡やロボットを用いた鏡視下手術が主流となり、放射線療法、化学放射線療法、化学療法などの術前治療が行われますが、海外では放射線療法または化学放射線療法の報告が多く、それらと化学療法を比較した報告は少ないのが現状です。また大規模な臨床試験では比較的若年の症例での検討が多く、高齢者にも同様の術前治療が必要であるか、また同等の効果があるかは検討の余地があります。そこで当院で行った直腸癌に対する鏡視下手術の術前治療毎の治療成績を比較することによって、鏡視下手術における最適な術前治療を明らかにすることができると考えます。

**研究実施期間：** 令和4年6月17日～令和6年3月31日  
(倫理委員会承認日)

**対象となる方：** 平成28年1月1日～令和4年6月30日の期間内に弘前大学医学部附属病院消化器外科において直腸癌手術を受けられた方

### 利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

当院のカルテに記録されている情報のうち、本研究では直腸癌手術症例をそれぞれの年齢層、手術アプローチ(開腹、腹腔鏡、ロボット)、術前治療の有無・種類で層別化し、採血データや臨床病理学的因子、生存期間、再発率を評価し、最適な術前治療を明らかにしたいと考えております。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して(これを匿名化といいます)、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

<b>本件連絡先</b>	弘前大学附属病院 消化器外科、乳腺外科、甲状腺外科 医員 桑田大輔 連絡先 電話番号/0172-39-5079
--------------	--